

(別表第1の4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム微笑の家

作成日: 令和 5 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	37g	事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告し、理解や協力を得るようにしている。(行事、設備改修、機器の導入、職員の異動・退職等)	①家族さんへの周知を前提に「日常生活のお知らせ」様子の記録の中理解を得る。 ②職員の異動退職等は、話の過程により、心配かけない様に、深く関係があったご家族には報告する。	設備の改修機器の導入・職員の異動など都度報告し理解を得ている。	12 か月	R4,4,20～R5,3,31までの期間 R4,の台風14号で屋根が剥がれ修理したことなどR4,11,の日常生活のお知らせで報告しました。②職員の異動退職等は深く関係があったご家族には報告している。
2	49d	評価結果と目標達成計画を市町、地域包括支援センター、運営推進会議メンバー、家族等に報告し、今後の 取り組みのモニターをしてもらっている。	①家族さんへの周知を前提に「日常生活のお知らせ」様子の記録の中で理解を得る。	運営推進会・家族にも結果報告を見やすい場所に設置している。	12 か月	R4,4,20～R5,3,31までの期間 家族さんや運営推進委員の方が見易いように玄関先に評価を設置している。ご家族の中ではイベント写真なども手にして見られている。モニターまではもう一歩である。
3	50e	地域住民や消防署、近隣の他事業所等と日頃から連携を図り、合同の訓練や話し合う機会をつくるなど協力・支援体制を確保している。	①家族さんへの周知を前提に「日常生活の様子」の記録の中理解を得る。 ②近隣住民へ呼びかける ③消防署立ち合いのもと実施する事。	併設の小規模と合同で訓練をしている。	12 か月	R4,4,20～R5,3,31までの期間 R5,3,16に消防署立ち合いの元、実施したことをR5,4,1付けの日常生活のお知らせで報告しました。
4					か月	
5		菜の花畑 スタッフのサイン			か月	

注1)項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。